# OPU Students 海外留学レポート

\*\*\*\*\*\*\*\*

Study Abroad Report from the OPU students



## プロフィール (Profile)

☆

☆

☆

☆

☆

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

☆

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\boxtimes}$ 

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

☆

☆

☆

☆

氏名(Name)蔡 嗣閣 所属(School)工学域 物質化学系学類 学年(Grade) 2

留学先(Name of overseas institution) マラヤ大学

留学期間 (study abroad period) From 2018/8/5 to 2018/8/26

記入日 (Date) 2018/9/6

# 留学レポート Study Abroad Report

最初に、僕はマレーシアのマラヤ大学というところで 3 週間という短期プログラムに参加しました。結論から言いますと、三週間とても有意義な時間を過ごせたと思います。初め僕自身として環境面に対する不安は多少ありましたが、特に心配ごともなく終えることができとてもよかったと感じています。大ざっぱに四つの観点からこのプログラムについて述べていこうと思います。

#### 英語学習

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Longrightarrow}$ 

☆

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

☆

☆

 $\stackrel{\wedge}{\square}$ 

☆

☆

**☆ ☆** 

☆

☆

☆

**☆ ☆** 

 $\stackrel{\wedge}{\Leftrightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

☆

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\frac{4}{4}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\frac{1}{2}$ 

**☆ ☆**  午前中に英語を四つに分類して学習を進めていくプログラムでした。四つというのは、reading,vocabulary,speaking, grammer のことです。日本の英語学習と違って基本的にグループワークで、ゲームを使って授業を進行するものがほとんどでした。先生によっては聞き取りやすかったり、聞き取りにくかったり様々ですが、わからないところも僕のような拙い英語でも理解してくれてわかりやすく丁寧に教えてくれました。授業自体は個人差はあると思いますが、僕自身そこまで難しいとは感じませんでした。先生の話も所々の単語を拾っていくと大体は理解できました。僕自身英語での発表についてはかなりの自信がついたので、とても有意義な時間を過ごせたように感じます。

# ☆・校内活動

午後からは基本的に伝統文化と議論のクラスの二つに分類して学習を進めていくプログラムでした。まず伝統☆文化の授業では音楽と舞踊の二種類を学びます。どちらかを選択するというわけなのですが、僕は舞踊を選ん☆だので音楽に関してはあまり分からないです。舞踊はマレーシアの古典的な舞踊を先生と一緒に踊りながら学☆びとり最終日に発表するというものなのですが、なかなか難しかったです。議論のクラスに関しては先生が与☆えるお題に対して賛成派と反対派に分かれて討論するというものでした。僕自身これのおかげで人前で英語を☆話すことに対して、あまり抵抗を感じなくなったような気がします。

### ☆・生活環境

基本的にマレーシアでの生活は何も不自由なことはありませんでした。熱帯だからといって特別暑いこともな☆いし、基本的にからっとしていて過ごしやすかったです。どちらかというと今年の日本の方が僕は暑く感じま☆した。雨も基本的に降らず、スコールという形で突発的な降雨がほとんどですぐにやむというものでした。宿☆舎での生活も基本的に空調設備は整っていて、生活に必要なものはほとんど揃っていました。また、マレーシ☆アに持っていくのを忘れたものもほとんど現地で調達できます。マレーシアの物価は日本と比べるとものすご☆く安いです。なので、向こうで買い物をしても大したお金はかからないです。夜ごはんは外で食べるのがほと☆んどですが、一食日本円でいうと約300円ほどで済みます。僕自身結構ものを買う方なのですが、三週間で約☆3万円で済みました。その内訳もほとんど観光地で使ったものが占めています。交通に関してはほとんどタク☆シーを使いました。マレーシアのタクシーは日本と比べると格段に安いです。地下鉄もかなり発達していて便☆利でした。治安も思っていたよりよく特に何事もなく安全に過ごすことができました。

\*\*\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*\*\*

 $\frac{1}{2}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Longrightarrow}$ 

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

☆  $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$  $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ ☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Longrightarrow}$ 

☆

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\square}$ 

☆  $\stackrel{\wedge}{\Leftrightarrow}$ 

 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

☆

☆

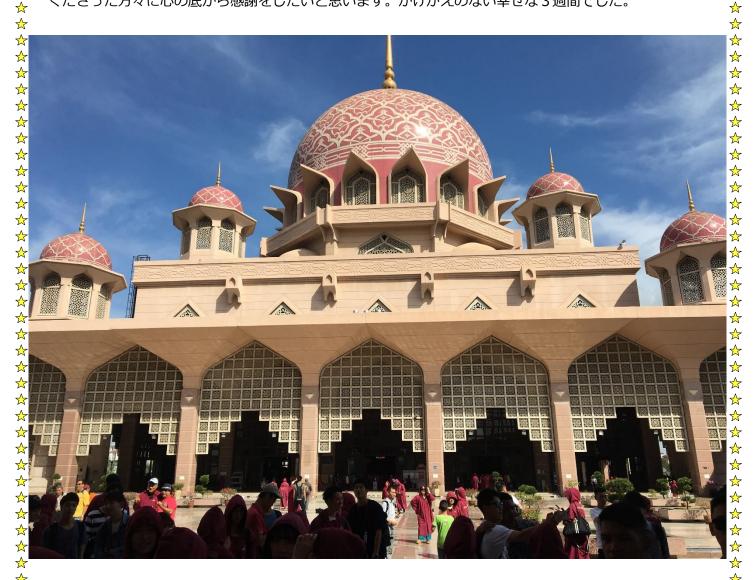
 $\stackrel{\wedge}{\Rightarrow}$ 

マレーシアの文化は基本的にマレー文化、中華文化、インド文化の三つに分かれるため観光名称それぞれ独自☆ の特色を反映していたように感じました。マレー系の文化は基本的にイスラムの文化が浸透しており、モスク☆ と呼ばれる円形状の建物がほとんどでした。入るためには男性は長ズボンが必要条件であり、肌を露出しては☆ いけないイスラム文化の特徴を反映していました。中華系の建物は漢字で記載されており、いかにも中国の雰☆ 囲気を醸し出していました。なかにはたくさんの提灯がつるされており、華やかな感じでした。インド系の建☆ 物は正面にとても大きい菩薩の像があり、ヒンドゥー教を感じさせるものでした。

料理も前述通り三つの文化に分かれており、それぞれ独自の特色を反映するものでした。マレー系の料理の代☆ 表ナシゴレン、ナシレマク、中華系の料理の代表チャーハン、バクテー、インド系の料理ロティチャナイ、タ☆ ンドリーチキンはどれもとてもおいしかったです。なかでも僕は中華系の料理であるバクテーが一番おいし☆ かったように感じます。またマレーシアの国民的に人気のあるミロという飲みものもとてもおいしかったで☆ す。写真はあえて載せないので皆さん直接自分で行って確かめてください。

#### 最後に

マレーシアという国に行き現地での生活を通してマレーシアに対する価値観が180度変わったように今実 感しています。ほとんどの時間をクアラルンプールで過ごしたのですが、日本に劣らずすごく魅力的な町であ☆ るように感じました。現地の人もみんなやさしく積極的に話しかけて下さり、温かく接して下さったのですぐ に打ち解けられました。僕ら以外にも違う三つの大学が集まったのですが、どの大学の人もみんないい人たち ↔ ばかりでした。僕自身はじめて英語圏の国に行ったのですが、一番学んだものとして英語を使ってコミュニケーションをとるということがこんなに楽しいということです。これは日本にいる限り絶対できない貴重な経 験になったと感じています。マレーシア自体三つの文化が融合しており、たくさんの人たちが共存していま す。それに対し、日本は単一民族で構成されておりこのような異文化交流はできません。そのため、今回のフ ログラムは英語能力の進歩だけでなく、異文化理解の面でもたくさんのことを学ばさせていただく いい機会になったと感じています。このような経験は2度とないかもしれませんが、このような場を提供し くださった方々に心の底から感謝をしたいと思います。かけがえのない幸せな3週間でした。



\*\*\*\*\*\*\*